

SANJIRO MINAMIKAWA'S WORLD
FOOTPRINTS OF PHOTOGRAPHER'S LIFE 40 YEARS



〈ヴェルサイユ宮殿〉鏡の回廊

南川三治郎の世界

写真家生活40年の軌跡

2009年12月1日[火]～2010年1月31日[日]

開館時間＝9：30～17：30(入館は17：00まで) [会期中無休(但し12月28日～1月1日を除く)]

入館料＝一般1,000円(4枚セット券3,000円)／大学生800円／高校生500円／中学生以下無料

後援＝富士フィルム株式会社、株式会社ニコン、株式会社ニコンイメージングジャパン、NHK津放送局、
三重テレビ放送、中日新聞社、読売新聞社、伊勢新聞社

□南川三治郎講演会 2009年12月13日(日) 14：00～



paramitamuseum 財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
http://www.paramitamuseum.com E-mail:office@paramitamuseum.com

MAPCODE 566359095

交通機関

■お車をご利用の場合＝東名阪四日市ICで降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km

無料駐車場あり(普通車100台、大型バス駐車可)

■電車をご利用の場合＝近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m
全館バリアフリー、車椅子常備

南川三治郎の世界 写真家生活40年の軌跡

2009年12月1日[火]～2010年1月31日[日]

南川三治郎は1945年に三重県に生まれました。その後、今日までフランス・パリを基点にヨーロッパ各国・アメリカなどを取材しています。2010年には、フリーランス・フォトグラファーとして独立してから40年を迎えます。

'70年代よりヨーロッパを中心に“人と文化”を撮り続けてきた南川は、同時に日本の文化にも熱い視線を注いできました。

「南川三治郎の世界」展では、洋の東西の世界を知り尽くした写真家が紡ぎだす“人と文化”のさまざまな姿を紹介します。'80年日本写真協会新人賞の『アトリエの巨匠たち』、'86年日本写真協会年度賞受賞の『推理作家の発想工房』をはじめ、フランス人以外で初めて撮影を許可された『ヴェルサイユ宮殿』など、世界を股にかけて活躍する写真家南川三治郎の軌跡を本人のエッセイとともに展示します。



■(アトリエの巨匠100人) ジョアン・ミロ ■(アトリエの巨匠100人) サルヴァドール・ダリ ■(イコンの道) (イエス・キリスト) アヤ・ソフィア寺院
 ■(アトリエの画家たち) 小倉遊亀 ■(推理作家の発想工房) フレデリック・フォーサイス ■(推理作家の肖像) パトリシア・コーンウェル
 ■(ヨーロッパの文学カフェ) カフェ・フロリアン ■(ルーマニア雪の尼僧院) マルジナ修道院 ■(名門の令嬢たち) エウヘニア・マルティネス・デ・イルボ・フィッツ・ジェームス・スチュワート



交通機関
 ■お車をご利用の場合—東名阪四日市ICで降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km
 無料駐車場あり(普通車100台、大型バス駐車可)
 ■電車をご利用の場合—近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m
 全館バリアフリー、車椅子常備

paramitamuseum 財団法人岡田文化財団
 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
<http://www.paramitamuseum.com> E-mail:office@paramitamuseum.com

次回
 予告

浜口陽三・南桂子展 —色彩銅版画の世界—
 2010年2月2日(火)～3月30日(火)

20代で渡仏して以来、第2次世界大戦をはさんで都合40年あまりをフランスで過ごした浜口陽三・南桂子夫妻は数々の美しい色彩銅版画の名品を残しました。銅版画の中でも最も微妙な作業を必要とされるメゾチントを選んだ浜口陽三は、これまで試みられたことなかった色彩多色刷りを開発して、世界を驚かせました。今回は浜口陽三の最初期の作品を含む60点あまりの作品を展示し、合わせて浜口と共に歩み続けた南桂子の個性あふれる作品を展示します。



浜口陽三「パトリックのさくらんぼ」